

令和2年度 第14回 政策調整会議 会議録

◆開催日時:令和3年1月26日(火) 10:00~10:20

◆開催場所:職員会館大会議室

◆出席委員:堤副市長、大下教育庁、残総合政策部長、坂井財務部長、前田魅力創造部長

◆審議事項

・岸和田城天守閣耐震対策検討委員会の設置について……………観光課⇒承認

◆審議概要

『岸和田城天守閣耐震対策検討委員会の設置について』

〈説明者〉西河観光課長、畑部担当主幹、高橋担当長

◎付議依頼書に基づき説明

◎説明後、質疑応答

〈堤副市長〉岸和田城改修にあたり様々なパターンがあるが、物理的に難しいもの等は外れていくことになる。

〈観光課長〉岸和田城は、八陣の庭の構成要素にもなっており、建替えは現実的ではなく、耐震補強になると考えている。

〈堤副市長〉条例改正が必要になるため、議会への説明を丁寧に行うこと。また、事業化に向けての要綱等について細かく検討するように。岸和田市で行うプロポーザル等の要綱の様式がその都度異なり、部署異動等の際に混乱を招くことになるため、市の統一的な様式の作成について、各部長で協議されたい。費用の捻出方法案として、地元企業や市民の寄附を募るにあたり、改修瓦等の裏に寄附者の名前を記す権利を付与とあるが、瓦の裏では見ることができない。より多くの寄附を集められるよう、誰もが見ることができ、愛着がわく、参加したくなるようなものを考えてもらいたい。

〈教育長〉そもそも何故改修するのか。

〈魅力創造部長〉1954年に現在の岸和田城が建てられ、建設部から、一般論として鉄筋コンクリート造りの建築物の寿命を超過していると言われている。文化庁や大阪府より、他の文化財との並びを考慮すると、岸和田城の天守閣も耐震補強を検討する時期だと思ふ旨の助言を受けている。そうした背景がある中で、昨年3月に簡易的な耐震診断を行ったところ、大震災等の発災時には、天守閣が倒壊する危険性があると指摘された。そのため、専門家から意見をいただくべく委員会を設置したいと考えた。

〈教育長〉「耐震」ということを唯一の目的とするのか。

〈魅力創造部長〉耐震、観光、耐震補強に伴う歴史資料等の展示・収蔵方法の3点を主に議論する予定である。

- 〈教 育 長〉そのような複合的な目的を持つが、委員会の名称は「天守閣耐震対策検討委員会」で良いのか。
- 〈魅力創造部長〉「対策」とすることで、様々な内容を包含できるとして、総務管財課と調整したうえでこの名称としている。
- 〈教 育 長〉諮問機関となる委員会で出た意見は尊重する必要がある。市としては耐震改修をする方向であり、財政面を担保し、実現していくという合意がなされているという理解でよいか。
- 〈魅力創造部長〉財政面が主な課題となるが、委員会を実施していく中で、工事期間を中長期化し、緊急性の高いところから段階的に工事をすることや文化庁の補助金をしっかり取りにいこうことなど、そういった点に留意し進めていきたい。
- 〈教 育 長〉委員会で議論していただき、一定の成果が出たが、それが実現できないことにならないよう、市としてもしっかり担保できるように工夫を凝らして進めるように。
- 〈堤 副 市 長〉令和7年という財政的にも厳しい時期に工事が始まる予定なので、様々な議論があると思うが、外部からの費用を集めるための方策を今からしっかり考えておくように。
- 〈魅力創造部長〉承知した。
- 〈総合政策部長〉文化庁の補助金は、国土強靱化に係るものと考えてよいか。先般、危機管理課から国土強靱化のメニューが新たに示されていたので、耐震化であればそういった補助金も受けられるのではないか。
- 〈魅力創造部長〉毎年文化庁が70億円程度予算計上しており、その内数の活用を見込んでいる。総額が70億円なので、例えば熊本城の改修など他の自治体が文化財を改修すると配分額は減る恐れがある。最大1/2であり、文化庁、大阪府と調整ししっかり取りにいきたい。
- 〈総合政策部長〉予算のうち、委員会開催費用の352千円ということだが、これは著名人の参画のギャラも含めているか。
- 〈観 光 課 長〉含んでいない。学識経験者及び関係行政機関代表者、公募市民の8名分のみ。著名人として関わっていただく方については、今後検討することとしており、現段階では予算化していない。
- 〈財 務 部 長〉文化庁補助金は最大1/2ということだが、文化財の補助金は金額が少ないイメージがある。補助金は文化庁に限らず、幅広く調べていただきたい。城の指定管理を令和3年度まで1年間延長し、令和4年度以降、観光交流センターと併せて指定管理者を決定することになっており、令和3年度の夏には要綱の内容を固め、募集していく必要がある。令和7年から工事開始予定としているが、そのあたりとの関係はどう考えているか。
- 〈観 光 課 長〉要綱は今年度中には固めるべく作業中。耐震対策の影響がどのように指定管理者の業務に関わってくるのか見込みきれていないが、影響することは間違いないので、仕様書には落とし込んでいく。
- 〈財 務 部 長〉4月や5月に委員会を立ち上げ、議論を待っていると間に合わない。令和7年度から工事を開始した場合、令和7年度から城に入れなくなるので、令和3～6年度の3年で募集するのか、観光交流センターの扱いをどうするのか等様々なパターンがあるが、早めに決めていく必要がある。
- 〈観 光 課 長〉そこは我々も一番危惧しているところ。令和2年度中には考えをまとめるため協議している。
- 〈財 務 部 長〉現在一定の方針はあるか。
- 〈観 光 課 長〉城が使えず集客が見込めないような状態になる可能性が非常に高く、指定管理者の募集

にあたり、観光交流センターと併せることで城が使えないマイナス面を補えるような仕様書をつくっていきたい。

〈堤副市長〉補助金は、各省庁、宝くじ、日本財団等、ソフト・ハードを含め様々あるので、建替えのハード部分だけでなく、観光などのソフト面も今のうちから調査・検討すること。

〈総合政策部長〉本案件について、資金調達や指定管理との関わりについて深めることとし、原案のとおり、政策決定会議に諮ることとしてよいか。

【異議なし】

⇒本件、原案どおり承認し、政策決定会議に付議する。

令和3年1月 26 日

政策調整会議付議依頼書

依頼者名 魅力創造部長

下記事項について、効果的かつ効率的な市政運営実施のための会議の設置に関する規程第 14 条の規定に基づき、下記のとおり付議を依頼します。

記

付議事項名	岸和田城天守閣耐震対策検討委員会の設置について
付議の目的 (ポイントを絞り込んで、簡潔に記載すること。)	岸和田城天守閣における岸和田市市有建築物耐震化実施計画に基づく耐震診断の結果、耐震安全性が十分でなく補強が必要と判断されたことにより、今後の岸和田城天守閣の耐震対策に関する計画を策定するため、有識者等による検討委員会を設置しようとするものである。
説明者	観光課長 西河鉄二 観光課担当主幹 畑部 徹 観光課担当長 高橋宏和
付議事項の概要	様式別紙に記載(必ず別紙様式をご提出ください。)

別紙

付議会議	令和2年度 第14回会議
付議事項	岸和田城天守閣耐震対策検討委員会の設置について

★取組の目的

対象	市民及び観光客
どのような状態を目指す	岸和田城天守閣の耐震対策について調査審議する検討委員会を設置し、耐震対策に関する計画を策定する。

★総合計画上の位置付け

101030102	基本目標	I-1 生きがいを創造する
↑ここにコードを入力 (コードは「総計体系」を参照)	達成された姿	(3)郷土への愛着心が育まれている
	目指す成果	①郷土の文化がしっかりと引き継がれている
	行政の役割	イ 岸和田の歴史や文化を保存・活用する

★現状と課題

岸和田城天守閣における市有建築物耐震化実施計画に基づく耐震診断の結果、耐震安全性が十分でなく補強が必要と判断されたことにより、天守閣の耐震対策に関する計画について調査審議させるため、市長の附属機関として検討委員会を設置しようとするものである。
岸和田城は国指定名勝八陣の庭の重要な構成要素となっていることから文化財対応の専門性や大掛かりな耐震対策(事業規模としては10億円以上を見込む)に対する専門性を必要とする事業であることから、観光課が他課と連携するという形ではなく準備室の設置が必須と思われる。
また岸和田城については令和3年度に新たに指定管理者を募集する予定となっており、現在は二の丸広場観光交流センターとの組み合わせで城周辺の賑わいの創出を見越して5年間の指定管理者を想定しているが、その5年間で耐震対策を行うとなると、入場者数や企画できるイベントにも制限がかかってくることになる。その点についても指定管理者の募集にあたり、考慮が必要となってくると考えられる。

(別紙資料)
 ・岸和田城天守閣耐震改修等検討委員会及びワーキングチーム名簿(案)
 ・スケジュール表(案)
 ・想定している耐震対策費用の捻出方法(案)
 【参考】岸和田城改修の選択肢

(単位:千円)

実施中の取組及び予定する事項	決算(見込額)		予算額	見込額				
	H30年度	R1年度		R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
委員会開催費用				352	352			
計画策定コンサル委託料				1,000	3,000			
財源内訳	国費							
	府費							
	起債							
	一般財源				1,352	3,352		
	その他							
事業費			計	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
			4,704	1,352	3,352	0	0	0

★当該事項に関連する人員増の必要性*

人員増の必要性		R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
有	無	4	0	0	0	0

★取組の効果を表す指標

指標名	単位	H30年度	R1年度	R2年度	目標値				
					R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
①									
②									

※事業費及び人員を確約するものではない。